

農学？ 脳学？ いえ、能楽です☆

口腔生命福祉学科3年 縄田 理佳

他人に「ノウガク研究会に入っています」と言うのと、大抵「へえ～、畑でイモでも作ってるの?」とか、「医学部の脳研で実験の手伝いでもしてるの?」といったリアクションが返って来がちです。なので「能・狂言の能楽です」「能力の能に楽しむの楽です」と説明する所から会話を始めなくてはなりません。しかしこうして歯学部ニュースにたびたび登場することで徐々に知名度が上がって行き、いつの日か「ノウガク＝能楽」と即座に認知して頂けることでしょう。

私たちは平成22年に発足した新しいサークルです。稽古は毎週水曜と金曜18時から21時まで池原会館（図書館の隣）2階の和室で行っています。月に1回ほど顧問の観世流能楽師の中村先生に師匠稽古をして頂いています。普段は私服に足袋だけ履いて、「紅葉狩」「鶴亀」「猩々」「経正」などの仕舞（能の一部を取り出して舞うもの）と、「吉野天人」などの素謡（能の一曲を最初から最後まで通して謡うもの）を稽古しています。初期投資として各自で用意しないといけないのは扇と足袋だけで、しかも1回買えばずっと使えますので、他の部活より経済的な負担は少ないのではないかと思います。本番の舞台で使う紋付や袴は部の備品として徐々に揃えています。

日頃の稽古の成果を発揮する舞台としては医歯学祭への出演（写真参照）や、学外では中村先生のお弟子さんの会や地域の公民館祭りなどへの出演があります。今後は、学内にとどまらず地域の皆さんに喜んでいただけるような場を舞台として考えています。文系のサークルのデメリットとしてデンタルのような全国大会が無いと思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、能楽に限ってはそんなことはありません。毎年7月末に名古屋



歯学科1年、深谷佳令さんの仕舞

で「全国学生能楽コンクール」が開催されており、平成25年度は出場できませんでしたが、来年度以降は是非出場して他大学の能楽サークルと積極的に交流したいと思っています。他にも顧問の中富先生が昔所属していた東大観世会との交流など、歯学部の枠を超えていろんな大学の能楽仲間と知り合えるのがメリットの1つです。

ホームページをご覧いただいた学外の能楽経験者の方から時々備品の寄贈を受けており、これまでに舞扇・謡本・解説本・笛の唱歌集・謡曲のレコード、能面などを大量にご寄附いただいております。他大学能楽部にも誇れるほどの貴重な財産です。寄贈して下さいました方にこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。

新大能研では常時新入部員を募集しています。高学年で既に部活を引退した方、入学時に部活に入り損なって帰宅部員の方、何らかの事情で他の部活を辞めた方など、経歴問わずいつでも大歓迎です。もちろん他の部活とのかけ持ちも全然アリ



です。稽古は週2回水曜と金曜ですが、どちらか1日または隔週など各人のペースに合わせて出席していただければ大丈夫です。もちろん他の部活やバイトとも充分両立できますし、毎回出席強制ということもありません。能楽は個人のペースで稽古を進めていけるのが良い所だと思います。こ



の部活紹介を読んでちょっと興味を惹かれたそのアナタ！ 「新大 能楽」で検索して（新大農学部が最上位に表示されますが…）能研ホームページに是非アクセスしてみてください。自分でもまだ知らない心の奥の未知の扉を開いてみませんか？



江戸千家茶道部の活動

歯学科3年 永井 絢子

私たち江戸千家茶道部は歯学部・医学部合同の部員10名（2014年1月現在）で活動しています。部長である私を含め、部員の多くは大学から茶道を始めた初心者ですが、澁谷后雪先生のご指導のもと、毎回楽しくお稽古に励んでいます。活動日は週一回のみと少ない中で、充実した内容になるよう部員同士協力し合って取り組んでいます。

茶道部は女性ばかりの静かな部活だというイメージが強いですが、男性部員も積極的に参加しています。また、兼部している人や他分野への興味を広げる人もいて、個性豊かなメンバーです。そのため部員同士のおしゃべりは話題が尽きません。一方でお茶会などのいざという時の結束力はとても強く、私自身いつも驚嘆しています。

茶道部の活動は季節に沿って進んでいます。とくに春の開学記念茶会、秋の学生茶会、そして医歯学祭は茶道部にとって一大イベントです。

春の開学記念茶会は六月初めに白山神社近くの燕喜館で行われます。私たちの他に五十嵐キャンパスの裏千家、表千家、石州流の茶道部が一堂に会して茶席を用意します。春の草花をイメージしたお菓子や道具を考えて揃えるのは大変ですが、とても勉強になります。また他の茶席に入って、流派の違いやその席ごとのお茶を楽しんだり、交流を深めたりしています。

秋の学生茶会は他大学からも参加して行われます。平成25年度は9つの団体が参加し、11月17日に旧齋藤家別邸、北方文化博物館分館、砂丘館の3ヶ所で開催されました。私たちは旧齋藤家別邸二階の大広間でお茶を点てました。当日は庭園がきれいに見える秋晴れに恵まれ絶好のお茶会日和となりました。折しも用意したお菓子が紅葉をかたどったもので、庭の赤く色づいた木の葉と重なってお客様に大変喜んで頂けました。春・秋の茶会ともに茶道に詳しいお客様が多数いらっしゃ



ることもあって、お手前は緊張の連続なのですが貴重な経験を積むことができています。

さらに、10月26・27日に開催された医歯学祭に私たち江戸千家茶道部も参加しました。今回は開催の1週間前になって、予定していた施設の利用ができなくなるというアクシデントに見舞われました。代替りの場所もないという事態に一時はどうなることかと思いましたが、学祭実行委員の人たちや保健学科の佐藤悦子先生の協力を得て、無事に茶席を設けることができました。台風の影響で例年より参加団体は少ない中であつたものの、保健学科3階の第9看護演習室でひっそりとお客様を待つことはなく、足りなくなったお菓子を求めに走るほどでした。また新入生にとってはお茶会デビューの場でしたが、顧問の林孝文先生をはじめOBの方々が来場して見守ってくださったおかげで、落ち着いて各自の役割を果たすことができました。

以上が主なイベントですが、他にも季節に沿った活動はいくつかあります。今度の部活は今年最初なので初釜をします。みんなで炉を囲み、花びら餅とともにお茶をいただくのが楽しみです。今後も茶道を通して日本の文化に触れ、部員同士の交流を深めていきたいと思っています。